

船上入学式

2012年4月3日、ホンダテクニカルカレッジ関東校第37回入学式が、客船「ふじ丸」の船内にて執り行われました。
本年度、関東校は287名の仲間を迎え入れ、新年度をスタートいたしました。ここで大木校長による式辞の一部をご紹介します。

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。
新入生の皆さんとともに新たなスタートを切れることを本当にうれしく思います。この式が終わりますと、皆さんはそのままこの「ふじ丸」で船の旅に出るわけですが、それは同時に「ホンダ学園」丸に乗って、人生の新たな航海に出る、そういう船出の時でもあります。

昨日まで皆さんは学校の「生徒」でした。今日からはホンダ学園の「学生」です。「生徒」とは先生から勉強を教えてもらう者であり、「一方」、学生」とは自ら行動を起こして学問を学び取る者です。一人ひとりが夢を持ち、目標に向かって突き進んでいってほしいと思います。

本校は、本田技研工業の創業者である本田宗一郎が設立した学校です。本田宗一郎はこの学園を創立するにあたり、「私は技術だけでなく、世界に歓迎される人間を作りたい」という志を語っています。
それはこの学園の目的である「チャレンジ精神に溢れ、人に愛され信頼される技術者」と同じ意味です。

本田さんは「技術は人間に奉仕する一つの手段にすぎない」と考えています。技術は人の役にたつて初めて価値があるものであり、技術を志す者はまず人への思いやりを持ち、人間を尊重する心を持っていなければならぬ、という強い信念を持っていたので、皆さんの周りにおられる、ご家族、友人との心の繋がりが、思いやりが持てる自分をしっかり形成し、その土台の上に優れた技術を身に付けること、技術者への道だということです。本田さんは学園創立にあたり、「ク

ルマやバイクの故障を治すだけではなく、お客様の心も治して欲しい」と述べています。それが「人に愛され信頼される技術者」であることの心なので、そして、本田宗一郎はその生涯を通じて、若い力の可能性を信じ、どのような困難に対しても飽くなき挑戦をする姿勢を貫いてきました。その気風はホンダグループの全てに深く浸透しており、ホンダ学園においても「チャレンジ精神に溢れた学生の育成」に努めています。

さて本校は「人に愛され信頼される技術者」を育成するために三つの育成方針を掲げています。一つ目は「マナーとマインドを磨く」というものです。社会は、親しい友人や家族だけの世界ではありません。年齢も経験も、ま

た価値観も異なる人々と接するのが社会であり、そこで受け入れられるためにはそれなりの備えが必要です。ここでいう備えとは最も基本的な三つ、すなわち「挨拶」「言葉遣い」「身だしなみ」です。決して難しいものではありませんが、意識して訓練しないとできないものばかりです。皆さんがプロを目指す以上、高い意識で取り組んで頂きたいことのひとつです。

二つ目は「実践第一の技術力を学ぶ」ということです。自動車業界ではどんな技術革新が進んでも、とくに環境や安全を守るための技術はますます高度化していきます。ハイブリッドや燃料電池自動車などは少し前にはなかった技術です。本校ではこういった技術の進化をタイムリーかつ実践的に学ぶことができます。ぜひ、このメリットを十分に生かして学びに役立ててください。

三つ目は「社会貢献の心と行動力を育む」というものです。皆さんを迎えるのは私たち教職員や先輩たちだけでなく、学校周辺の住民の方々や地域社会も同様なのです。時に温かく、時に厳しく私たちを見ておられます。この地で学ぶことは、同時に周辺社会との調和を求められるもの、だ、ということ強く意識してください。

いろいろ申し上げましたが、この学校は皆さんの夢の実現をサポートする場です。さまざまな人々や事柄との出会い、幅広い経験や見聞の機会は十二分に用意されています。皆さんが自分の夢の実現に向けて、大いにこの学校を活用し、充実した学園生活を送られることを期待しています。

最後に、夢に向かう皆さんの新たな船出をお祝いいたします。本日は本当におめでとう。



祝辞を述べる大木校長

自動車整備科	第37期生 / 154名
一級自動車整備研究科	第12期生 / 65名
国際自動車整備科	第5期生 / 6名
自動車開発エンジニア科	第5期生 / 62名

最後に、夢に向かう皆さんの新たな船出をお祝いいたします。本日は本当におめでとう。

チャレンジの航海へ出発！ 洋上研修

入学式終了後、新入生を乗せた船は洋上研修へと出発いたしました。洋上研修には、自分自身を変革しながら何事にもチャレンジできる人に成長して欲しいという思いがこめられています。日常



研修会場となった客船「ふじ丸」

的な生活から離れ、新しい仲間たちと一緒に過ごし、自分自身と向き合うことで、学園で学ぶための準備をしてもらうためにも、新入生の皆さんには船上にて様々なプログラムに挑戦してもらいました。



グループ研修の様子

入学式も兼ねた研修初日、初めて会う人たちばかりの中で緊張の連続といった様子でしたが、翌日にもなると表情は次第に明るくなり周囲からは賑やかな話し声が聞こえるようになってきました。研修の合間にはデッキでのランチを満喫し、クイズ大会も大盛況でした。



2日目になると話し声も賑やかに

研修中のアンケートでは「自然に友達ができている」「早く授業を受けたい」という回答も多く、皆さんがそれぞれに、新しい仲間と出会うことができました。

洋上研修は終了いたしました。新入生の皆さんが乗船した「ホンダ学園」丸の航海は始まったばかりです。



研修中は笑顔がいっぱいでした

ニュージーランド & オーストラリア研修へ出発!!

3月13・15日、海外研修に参加する国際自動車整備科の8名と、別プログラムに参加する自動車整備科の2名が、家族や友人に見送られ、海外研修へ出発いたしました。学生の皆さんは現地ディーラーでの実務経験を通して、整備技術や英語力の向上を目指します。9ヶ月におよぶ就労研修の様子は、学生の皆さんが定期的に書いているレポート(ブログ)にてご覧いただけます。詳しくは学校ホームページをご覧ください。



海外研修へ出発する学生たち

桶川安全運転講習

埼玉県桶川市の交通教育センターレインポー埼玉にて、毎年新入生を対象とした安全運転講習を実施しています。2日間の講習では4輪・2輪の正しい扱い方と事故を回避するポイントを学んでいます。急制動やスラローム、教官による実演を見ながら、交通社会の一員として、安全運転の技術や思想を学んでいます。



着任しました



高木 清
3月1日より自動車開発エンジニア課に着任いたしました。以前はHGAデザイン開発室にて2輪の機種開発を担当しておりました。商品開発に於いて3D



春原 雄一
3月1日付で着任いたしました。春原と申します。25年前はみなさんと同じホンダ学園の学生でした。着任前はホンダコンサルティングに在籍し、国内サービス



郡司 慶一郎
4月1日付で関西校より自動車開発エンジニア科に赴任いたしました。郡司と申します。関西校では自動車整備科2年の電装単元で教務を行ってまいりました。埼玉製作所



茂野 泰士
5月1日付で埼玉製作所狭山工場よりまいりました。茂野と申します。狭山工場では完成車組立課に20年所属し、組立

しました



五月女 浩
私は、4月1日付で関西校へ異動いたしました。関東校で過ごした7年間は戸惑いの連続でしたが、多くの皆様のお力添えでここまで来ることができました。

心より御礼申し上げます。学生の皆様と共に成長してきた自動車開発エンジニア科は、物づくりのための人づくりの場として、今後更に社会から期待される学科となっていくものと信じております。これからもより多くの若者の夢を実現するために頑張ってまいります。皆様にもまたどこかでお会いできることを楽しみにしております。本当にお世話になりました。

